

# 「伝承活動」師匠と弟子の顔合わせ会

1. 日時 平成22年11月18日(木) 4校時 (総合的な学習)
2. 場所 多目的室
3. 参加者 4・5・6年児童  
校長・教頭・教務主任・4・5・6年担任  
鹿踊剣舞保存会
4. プログラム 司会：教務
- (1) はじめのことば
  - (2) 校長先生のお話
  - (3) 保存会の先生の紹介(教頭)
  - (4) 保存会の先生のお話
  - (5) 児童代表のことば
  - (6) 練習計画と諸注意
    - \*練習時の服装
    - \*練習場所(鹿踊：音楽室・体育館、剣舞：ホール)
    - \*中立・和尚の役割
    - \*始めや終わりの礼
    - \*用具の管理・一人一人責任をもって
    - ・代々伝えられていく道具を大切に
    - ・壊れたらすぐ修理をお願いする等
  - (7) 練習グループの発表( )
    - ・グループ発表
    - ・師匠と弟子の対面・挨拶
  - (8) おわりのことば

5. 練習計画 (基本的に木曜日5校時「総合的な学習」)

回	月	日	鹿 踊	剣 舞
①	11	25	道太鼓1～4番切の唱歌を唱える	扇子 唄を聞く、扇子の動き、腰切
②	12	2	前回のテスト、5・6番切を唱える 暗唱	切 唄を聞く、唄に合わせて踊る
③	12	6	前回のテスト、7番・立太鼓を唱える暗唱	念仏 唄を聞く、扇子の回し方
④	12	9	暗唱テストに合格したら太鼓をたたく	セイヤ まわる順序、セイヤの練習
⑤	12	13	置いて太鼓をたたく	切 センヤ切りまで合格
⑥	12	16	身に付けて太鼓をたたく	デレツク 唄を覚える デレツク切りの練習
⑦	1	13	太鼓を付けて踊る	ツク デレツク切りまで合格
⑧	1	20	姿勢・腰の高さ	ル 唄を覚える ルダガ切りの練習
⑨	1	24	頭を着けて踊る	ダガ ルダガ切り合格
⑩	1	27	頭の動かし方	デ`ツク 唄を覚える デ`デ`ツク切りの練習
⑪	1	31	幕の動かし方	ク デ`デ`ツク切り合格
⑫	2	7		剣デレ デレツク切(剣)合格
⑬	2	10		踊りの確認(面, 采を付ける)
⑭	2	14	衣装の着け方	衣装を着けて踊る
⑮	2	17		引き継ぎ式

\*原則として、伝える活動の時は保存会の先生は入らないが、動きの確認等のため来ていただいて教えていただくこともある。(特別に依頼)

# 鹿踊剣舞引き継ぎ式

1. 日時 平成23年2月17日(木) 2, 3校時 (生活・総合的な学習の時間)  
 4・5年衣装準備(6年手伝い) 9:20~9:55  
 1~3年移動 9:45~9:55

2. 場所 体育館 (児童用椅子を使用)

3. 参加者 全学年児童 教職員  
 鹿踊剣舞保存会

4. プログラム(開式10:00~) 司会:教務

- ※4・5年生は、衣装、剣などまで身に付けて入場する。
- (1) 校長先生のお話・・・保存会の方の紹介を含めて
  - (2) 引き継ぎ
    - ・6年代表の話 ( )
    - ・5年代表の話 ( )
    - ・道具の引き継ぎ 「鹿頭」「剣と面」
  - (3) 「鹿踊・剣舞の話」 (ビデオ視聴)  
 ※体育館内で頭、太鼓、采などを6年生も手伝って準備する。
  - (4) 踊りの披露 ----- 4・5年28名  
 \*踊りの前にメンバーを紹介する(教務)
  - (5) 保存会の方への御礼(プレゼント)
  - (6) 保存会の方からのお話
  - (7) 感想発表 ----- 1・2・3年代表
  - (8) 終わりのことば --- 教頭先生

5. 係分担

- ・保存会への連絡 (教頭)
- ・児童への事前指導 (各担任) \*衣装の配布, 道具の準備  
 \*鹿踊・剣舞の歴史や引き継ぎ式の意義
- ・ビデオ操作 (視聴覚主任)
- ・記録写真 ( ) ・駐車場~校庭

6. 準備物

- ・引き継ぎ用の「鹿頭」「剣と面」
- ・椅子 (児童は教室から持参, 保存会の方と当日参観者用のパイプ椅子)
- ・保存会の方へのプレゼント (6年)
- ・鹿踊・剣舞のビデオ・機器

7. 留意点

- ・4・5年生は衣装を着けて参加するため, 早めに準備をする。
- ・6年生は着替えを手伝う。
- ・ビデオ視聴の時は, 見やすい位置に移動する。
- ・前日の準備は5年生を中心に行う。
- ・式終了後のパイプイス等の片付けは6年生を中心に行う。

8. 会場図



- \* ストープを出す。
- \* マイクの位置は保存会に確認する。